

研究課題名 (研究番号)	手指末節骨骨折に対する治療成績に関連する因子の検討 (2023020)
当院の研究責任者 (所属)	横山 弘樹 (中京病院 整形外科)
本研究の目的	手指末節骨骨折の患者に対して保存治療を行うことが多いが、偽関節や疼痛の残存のためにADLや仕事に支障を生じることがあり、初期の治療方針選択が重要と考える。手指末節骨骨折の治療後の成績不良症例に関連する患者固有の因子を調べることを目的とする。
調査データ 該当期間	実施承認日から2025年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 手指末節骨骨折の患者さま ●利用する情報 カルテより、既往歴、治療方法、治療内容など
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:052-691-7151 担当者:整形外科 横山 弘樹
備考	